

第2次富山市SDGs未来都市計画に
関連する主な事業(分野別)

推進分野	取組内容	関連する主な事業概要
都市のかたち	データの利活用によるコンパクトシティ戦略の効果分析とレビュー ーションの向上	・都市政策事業 ・AIカメラ等によるスマートプランニング事業 等
	おでかけ定期券事業、地域自主運行バス事業の継続実施	・おでかけ定期券事業 ・生活交通対策事業(生活バス維持補助事業・地域自主運行バス小中学生無 料化補助事業費) 等
	次世代型交通システムへの対応	・グリーンスローモビリティ運行事業 ・AIオンデマンド交通システム事業 ・自動運転実証実験事業 等
市民生活	地域の健康づくり、介護予防、在宅医療・介護連携の推進	・ヘルスケア推進事業・高齢者生きがい対策事業(健康づくり拠点整備事業) ・こどもまんなか推進事業 ・学びの多様化学校事業 等
	総合的な福祉・医療サービスの展開によるウェルビーイングの向上	・スマートウエルネス推進事業 等
	市民の歩くライフスタイルへの転換、モビリティマネジメントの推進	・歩くライフスタイル推進事業 ・公共交通利用促進事業 等
エネルギー	持続可能な都市経営を深化させるエネルギー政策の推進	・脱炭素化推進事業(ZEH導入補助事業費・省エネ設備等導入補助事業、子 育て支援省エネ設備等導入補助事業) 等
	再生可能エネルギーに着目した地域循環共生圏の構築	・脱炭素化推進事業(ゼロカーボン推進事業) ・地域循環型生ごみ堆肥化モデル事業 等
	自立分散型エネルギーシステムの面的展開とレジリエンスの強化	・防災啓発事業 ・避難所解錠設備整備事業 等
産 業	センサーネットワークの利活用の推進	・センサーネットワーク利活用促進事業 ・スマートシティ推進支援事業、スマートシティ推進プロジェクト創出事業 等
	スマート農林水産業の推進による生産性の向上	・スマート農林水産業事業 ・有機農業取組拡大推進事業 ・スマート農業等基盤整備推進事業 等
	地域内資源循環プロセスの強化	・ごみ減量化・資源化推進事業(ダンボールコンポスト普及啓発事業) ・セルロース化技術を活用した産業イノベーション創出実証事業 等
都市・地域	SDGsの普及展開、サポーター・推進コミュニケーターの育成、 SDGs教育の推進	・SDGs普及展開事業 ・チームとやまし推進事業 等
	官民連携・未来共創の推進	・未来共創推進事業 等
	コンパクトシティ戦略のパッケージ化と国際展開	・国際展開事業 等

<取組①>

AIカメラ等によるスマートプランニング事業



事業概要		取組主体	
富山駅周辺エリア及び中心商店街エリアにおける広場や通りなどの通行量や属性などを把握するため、AIカメラを活用してデータ収集を行う。収集したデータは、市HPで観測日の翌日に公開する。まちづくり団体や学識者、コンサルタント会社等と連携し、データ駆動型のまちづくり施策基盤について令和8年度の事業化に向け、検討を行うもの。		富山市(まちづくり推進課)	
2024年度(R6)の主な取組		2025年度(R7)の主な取組	
取組内容	・AIカメラ観測データのWEB公表 ・AIカメラシステムのHPの機能改修を行った。観測データのダウンロード機能を向上させ、1つのカメラごとで、任意の日付を複数選択、もしくは、週単位、月単位、年単位ごとでまとめてダウンロードを可能にした。HP画面については、新たにメニューリンクを追加し、一括ダウンロードページの作成をした。	取組内容(予定)	・産学官連携による人流分析 ・データ利活用事例の作成・公表
取組課題	データ抽出の効率化	実施方法	・人流データの読み解き及び課題解決に向けた施策の設計・効果検証を富山市の交通・まちづくりにかかわる事業者等を対象にワークショップにて実施し、人流データの利活用啓発を行う。 ・令和6年度事業についてアニュアルレポートを作成し、人流データの利活用事例として公表を行い、市民・民間企業等のデータ活用の促進を図る。
事業費	18,276千円	事業費	18,346千円



富山駅周辺エリア (エリア1)	
設置箇所：13箇所 カメラ台数：24台	
エリア1 通行人数	エリア1 滞留人数
70375	207

<取組②>ヘルスケア推進事業・高齢者生きがい対策事業(健康づくり拠点整備事業)



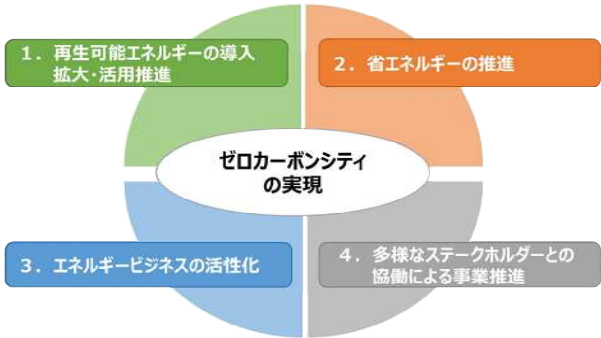
事業概要		取組主体	
高齢化の進展に伴い、要支援者・要介護者となるものの増加が見込まれることから、大沢野地域と八尾地域において、あらゆる世代の市民が主体的に継続して健康づくりに取り組むことが出来る仕組みづくりや環境整備を行い、地域の資源を有効に活用しながら賑わいのある健康づくり拠点にすることで市民が楽しみながら自立して健康づくりに取り組めるようにするもの。		富山市(福祉政策課、長寿福祉課)	
2024年度(R6)の主な取組		2025年度(R7)の主な取組	
取組内容	大沢野健康福祉センター(ウィンディ)や八尾行政サービスセンター及び八尾B&G海洋センタープールを活用し、市民の自主的な健康づくりを推進する取組みや、より多くの人が集まる拠点づくりを行った。 (1)フレイル予防のためのプログラムの実施 (2)スマートフォンを使い、体調や成果の見える化による運動継続支援	取組内容(予定)	(1)フレイル予防のためのプログラムの実施 (2)体力測定会を実施し、個々の体力に応じて既存の介護予防事業やプログラム等につなぐ (3)スマートフォンを使い、成果の見える化及び仲間づくり等による運動継続支援 (4)生きがいづくりの創出や地域活性化を目的とした講座や多世代交流イベントの実施
取組課題	(3)生きがいづくりの創出や地域活性化を目的とした講座や多世代交流イベントの実施 (4)魅力あふれる拠点づくりに向けた環境整備	実施方法	(1)プログラムを夏期・秋期の2クールを実施する。終了後の自主運動期間も対面での指導やアプリによる運動指導などの遠隔支援を行い、サポートを強化する。 (2)大沢野と八尾地域で各2回体力測定会を実施し、必要に応じ既存の各種介護予防事業やフレイル予防プログラムにつなぐ。 (3)利用者や指導者が積極的にアプリを活用できるようにマニュアルを作成し、遠隔支援による体調管理や運動指導、グループチャットによる仲間づくりを支援する。 (4)講座や交流イベントを幅広い世代に周知するため、LINE等の活用に努める。
事業費	28,125千円	事業費	14,862千円

＜取組③＞ 脱炭素化推進事業(ゼロカーボン推進事業)	
事業概要	取組主体
2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けた方針・施策等を定めた富山市地球温暖化対策推進計画の趣旨に沿い、ゼロカーボンシティの推進に向けた各種施策を展開するもの。	富山市(環境政策課)
2024年度(R6)の主な取組	
取組内容	・本市の未利用地において、民間事業者によるPPA(第三者所有モデル)の手法を用いた太陽光発電設備の導入に向けて、プロポーザルにより事業者を選定。 ・個人住宅及び事業所における再生可能エネルギーの導入拡大とエネルギーの地産地消を進め、本市におけるゼロカーボンの推進を図るため、住宅や事業所における自己所有又はPPAによる太陽光発電設備等の導入に対して補助を行った(61件)。
事業費	38,187千円
2025年度(R7)の主な取組	
取組内容(予定)	・PPAによる公共施設(市有遊休地)へのPV導入事業について、選定した事業者とともにR8.4月の供給開始に向けて設備の設置を進める。 ・太陽光発電設備及び蓄電池導入促進補助金【継続】
事業費	322,889千円

太陽光発電設備及び蓄電池導入促進補助金(上:住宅向け、下:事業所向け)

導入手法	補助対象設備	補助額(上限額)	補助上限額
自己所有	太陽光発電設備	7万円/kW	35万円
	蓄電池	補助対象経費の1/3(上限5万円/kWh)	40万円
PPA	太陽光発電設備	7万円/kW	35万円

導入手法	補助対象設備	補助額(上限額)	補助上限額
自己所有	太陽光発電設備	5万円/kW	150万円
	蓄電池	【4,800Ah・セル相当のkWh以上の場合】 補助対象経費の1/3(上限6万3千円/kWh)	189万円
		【4,800Ah・セル相当のkWh未満の場合】 補助対象経費の1/3(上限5万円/kWh)	150万円



＜取組④＞ 避難所解錠設備整備事業	
事業概要	取組主体
避難所(体育館等の入口)の鍵が迅速に解錠されることによる市民の安心感の醸成や、避難所の鍵管理の負担軽減につなげるため、キーボックス等の解錠設備の整備を行うもの。	富山市(防災課)
2024年度(R6)の主な取組	
2025年度新規事業のため、取組なし	
2025年度(R7)の主な取組	
取組内容(予定)	「災害対策基本法に基づく指定避難所・指定緊急避難場所」として富山市地域防災計画に位置付けられている第1次避難所(78か所)に、キーボックス等の解錠設備を整備する。
実施方法	(1)「震度感知式・ダイヤル式キーボックス」の設置 (2)防犯対策として入口付近に「ソーラー式センサーライト」の設置 (3)第1次避難所であることを示す「サイン」の設置
事業費	42,000千円



震度感知式・ダイヤル式キーボックス



ソーラー式センサーライト



第1次避難所であることを示す「サイン」の設置

＜取組⑤＞ スマートシティ推進事業	
事業概要	取組主体
「富山市版スマートシティ」実現のため、スマートシティを推進する役割を期待する「SCRUM-T」を円滑に運営し、企業間の交流や共創を促進するとともに、市民ニーズを的確に捉えたスマートシティ関連サービスを創出することにより本市のスマートシティ政策を強力に推進することを目的とした事業を行うもの。	富山市(スマートシティ推進課)、SCRUM-T
2024年度(R6)の主な取組	
取組内容	・SCRUM-T運営 ・スマートシティ推進プロジェクト創出事業
実施方法	・年2回のSCRUM-T総会の開催、Slackの運営運営支援、会員間のマッチングを促進するイベントの開催等を実施した。 ・SCRUM-T会員企業・団体を対象に、富山市版スマートシティの実現に資する実証事業に対し助成を行った。
取組課題	SCRUM-T会員企業は増加傾向だが、スマートシティ関連事業提案の促進のためには、より多様な企業が参画するプラットフォームとなる必要がある。地元企業からは、スタートアップの巻き込みが大切であり、期待する声が多く上がっているが、スタートアップ企業に一地方都市への関心を持ち続けてもらい、参画してもらうことは簡単ではない。
事業費	33,000千円
2025年度(R7)の取組	
取組内容(予定)	(1)SCRUM-T運営 (2)プロジェクト創出(PoC)実施 (3)先導的モデル事業の実施
実施方法	(1)SCRUM-T総会の開催、会員専用コミュニケーションツール(Slack)運営、マッチングイベント開催、スタートアップ会員獲得等を行う。 (2)SCRUM-T会員企業・団体を対象に、富山市版スマートシティの実現に資する実証事業に対する補助事業を実施する。 (3)地区センター・公民館の拠点性・利便性を向上させるとともに、地域住民間のコミュニケーションを円滑化するデジタル技術を導入し、地域主体の交流を促進することで地域コミュニティ活性化を目指す。
事業費	(1)富山市スマートシティ推進支援業務委託 9,999千円 (2)富山市スマートシティ推進プロジェクト創出事業運営支援業務 3,850千円、スマートシティ推進プロジェクト創出補助金 10,580千円

＜取組⑥＞ スマート農林水産業事業	
事業概要	取組主体
農林水産業全般の成長産業化に向けて、AI・ICT・ロボット技術等の先端技術の活用による省力化・高品質生産を実現するため、スマート機器の導入を推進するとともに、データの見える化による作業の効率化や生産性の向上を図る。	富山市(農政企画課) 市内生産者(市が委託するセンサー関連事業者、データ解析事業者)
2024年度(R6)の取組	
取組内容	【スマート農業事業】 スマート農業機器を生産現場において使用し、データの蓄積・解析及び導入効果の検証を行った。また、富山県立大学において株間除草ロボットの改良研究を行った。 【スマート果樹事業】 梨栽培作業の省力化や高付加価値化等の効果の検証を行った。また、富山県立大学において運搬支援ロボットの改良研究を継続して行った。 【スマート水産業事業】 スマート水産業機器(高解像度魚群探知機搭載ブイ・ICTブイ・水中ドローン)をホタルイカ定置網漁において使用し、漁獲量・環境情報等のデータ収集を行い、スマート水産業の導入効果の検証を行った。
実施方法	生産者と市が連携し、実証を実施する
取組課題	・機器の開発段階であり、生産現場への実装には相当の期間を要するものと考えられる。 ・生産者等との連絡調整 ・生産者及び産地が抱える課題の複雑化
事業費	【スマート農業事業】 3,708千円 【スマート果樹事業】 5,454千円 【スマート水産業事業】 12,767千円
2025年度(R7)の取組	
取組内容(予定)	【スマート農業事業】 導入したスマート機器や農機具を運用した、農作業におけるデータ蓄積・分析及び効果検証の総括 【スマート果樹事業】 導入したICT機器等を運用し、環境データや栽培データの蓄積・分析及び効果検証の総括
実施方法	2024年度(R6)と同じ
事業費	【スマート農業事業】 4,947千円 【スマート果樹事業】 4,596千円

